

櫻井 善明

東京歯科大学卒
ネクスト・デンタル院長

林 智恵子

日本大学歯学部歯科衛生士専門学校卒
ネクスト・デンタル主任衛生士

**診る事、伝える事、「マイクロスコープコミュニケーション」
～カーリーナシステム ADMENIC DVP2 の紹介と歯科衛生士による活用法～**

**To examine and to tell. "Microscope communication"
-Introduction of carina system ADMENIC DVP2 and utilizing method by
a dental hygienist-**

我々は2012年日本歯科大学新潟生命歯学部にて開催された第9回学術大会において「マイクロスコープによる治療は次の時代へ」と題し、映像記録プレゼンテーションシステム「カーリーナシステム ADMENIC DVP」の有用性について発表させていただいた。

その後、ADMENIC DVP は2014年8月に「DVP2」にアップデートされ、さらに使いやすくなり、患者へのプレゼンテーションにおいて強力なツールとなった。

今回のアップデートでは「症例比較」「術前術後比較」に加え、録画後にタッチパネルの操作によって行える「拡大表示」や「お絵かき機能」、後の検索をスピーディーにする「タブ検索機能」などが追加された。

これらの機能を駆使する事は困難では無く、パソコン操作などにハードルを感じる不慣れな人であっても直感的に操作できるため、比較的容易に使う事が出来る。これは歯科医師の治療時のみならず、歯科衛生士によるメンテナンス時にこそ、大きなメリットとなる。メンテナンス時において患者の口腔内を撮影、録画する事は歯面の清掃状態、歯肉の状態などを患者自身が確認できる事で、ブラッシング指導やクリーニングの効果、メンテナンスの重要性を理解してもらえ、セルフケア、プロフェッショナルケアに対してのモチベーションアップに繋がる。

また、歯科衛生士がメンテナンス時の口腔内の状態を担当歯科医師に正確に伝える事で今後の治療計画やメンテナンスプログラムの立案に大きく貢献する。

今回のランチョンセミナーではカーリーナシステム ADMENIC DVP の基本的な操作方法からDVP2 でアップデートされた機能の紹介に加え、実際に歯科衛生士によるデモンストレーションを行い、歯科衛生士～患者、歯科衛生士～歯科医師のコミュニケーションにおける映像記録の活用法について広く知っていただきたいと思う。